

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年7月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 619名 支援対象者数 49名 就職者数 76名 就職率 22.4% (参考)前年同月実績 ・利用者数 415名 ・支援対象者数 38名 ・就職者数 93名 ・就職率 23.7%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：60代 ・ 希望職種：施設警備 駐車場管理

① 求職者の課題

・生活補保護受給。10年以上無就労。原因不明の腹部肉欠損。手足に力が入らない。ペンが持てず字が書けない、歩行は困難との申し出だが医療機関を受診せず。就労支援6回目。

② 紹介の経過

・相談時には毎回体調不調を訴える。歩行困難、ペンも持てないと言い、座り仕事で手を使わず通勤は自転車2キロ以内を希望。支援期間が長く、該当する求人は今まで提供した求人がほとんどであった。就労の話の時は無口だが病状や生活の話になると饒舌。生活状況を聞く中で、日常行動で手足を使ってできていることを本人に認識してもらい短時間・短日数の求人を提供。まずは少しでも就労しそれを継続することを目標に、1日1時間、週1日ひとりで行う清掃求人を勧めた。時間内で自分のペースでできること、多少でも収入が増えることを何度も話し続け、応募を決断した。

③ 結果 紹介就職 パート 公園トイレ清掃

④ 職業相談員の所感

・就労支援6回。就労意欲が上がらず、キャリアカウンセリング事業に移行した時期もあったが改善は見られなかった。体調不良を訴えるが医療機関受診を勧めると受診を拒んだ。面接では足を引きずり不採用。応募に際して「自分の意思ではない、就労支援員の指示だ」と明言するほど就労意欲が低く、生活保護を受けるための就職活動になっていた。生活保護受給開始は50歳、それから生活の状態は変わらず無就労期間が10年以上経過している。生活保護受給開始の段階で早期就職で自立への意識付けが重要。遅くなればなるほどに本人の意欲をあげることは難しく、無就労期間が長引けば採用の道は遠くなる。今回採用報告の際に面接がうまくできたことを嬉しそうに話し、採用が即決であったことが自信に繋がった。就労開始後には「ダブルワークできそうだ」と前向きな発言も聞かれた。

⑤ 本人のコメント

・週1回でも頑張って続けたい。いずれはダブルワークも考えたい。